

特集◆◆◆◆「海技の伝承」 救命筏の基礎知識

◆ 船員の命を守る ◆④ 生き抜くために必要な「救命いかだ」の知識

洋上を航行する船舶には海難に遭遇した場合に備え、命を守るための救命艇や「救命いかだ」などが設備されており、万が一の不幸な事態を避けるため、救命いかだに関する知識は必要不可欠である

サバイバルで生還するための知識と技術 -陸地発見法と着岸-

海の色 海の色でもおおよその位置、陸岸の方向を知ることができる場合もある。ブルーまたはグリーンは通常は深海の色であり、大きな河の河口数百マイルはグリーンで、河口に近くなると褐色または泥色である。

氷 極地では側面が不規則で頂上が平滑な氷片が多くあれば、陸地がそう遠くないことを示し、まれにしか見られない場合、陸地は遠い。

海草 海草は、普通海岸に近く生えるが、海上ではそうとうの所まで漂っていることがある。もし陸上の植物や枝などがみられれば、陸地が近いことを示すものである。

稲妻 数時間、早朝同じ方向に稲妻があれば、その方向に陸地がある。

鳥 鳥を見かければ陸地が近いと思ってもよいが、かなり離れている場合もある。昆虫はそうとう遠くの海上まで飛んでくるので、昆虫がいるからといって陸地の見当をつけることはできない。

雲 堆積雲は大きな丸い形の厚い雲で、陸上で作られ海へ動いてきたものであるから、その動く方向によって陸の方向がわかる。このような雲が低くかかっている他の空が晴れていれば、多分島が近くにある。また水平線上の一点に雲がとどまっているときは、その方向に陸地のあることを示している。

都市の反射 大都市の照明の光の反射は100マイルぐらい離れても見える。煙とか、何となく陸地が近ければそのような徴候がある。

陸地の匂い 海の色、稲妻、鳥、雲、といったものから陸地のおおよその方向を知り、私達の航海しようとする方向または位置の見当がつく。